

丸茂レディースクリニック

丸茂レディースクリニックは、地下鉄南北線の六本木一丁目駅直結という多くの方に気軽に来院していただける便利な場所に位置しています。駅の改札をでて外にでることがないので、安心して赤ちゃん連れで来院していただけます。診療は産科から婦人科までトータルで女性の一生をサポートします。

妊婦健診

当院では必ず胎児診断の専門家である産婦人科医師の丸茂院長が健診をし、毎回超音波検査で赤ちゃんの健康状態をお母様と一緒に画面を見ながら確認しております。超音波検査機器は、胎児 4D 超音波もご覧いただける最新機種を使用しておりますので、毎回赤ちゃんの順調な発育を鮮明な画像で実感していただけます。妊娠中からのおなかの中の赤ちゃんとの視覚的な触れ合いは、妊娠中はもとより出産直後からの赤ちゃんへの愛情に対してもよい影響を及ぼすと考えております。



4D 超音波の写真は毎回健診時に差し上げている他、ご希望があれば健診時に撮れた 4D エコーの映像も DVD にしてお渡ししております。（※DVD をご希望の方は健診料と別途 2,500 円がかかります）

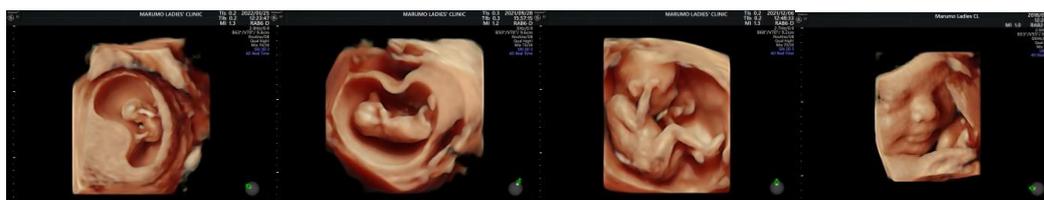
健診に同席できなかったパートナーや離れて暮らすご両親とも赤ちゃんの様子を共有し、ぜひお楽しみください。

これまで直接見るができなかったお腹の中の赤ちゃんの写真や DVD での撮影は、お子さんのこれからの長い人生の中で、初めての貴重な記念撮影であり、将来の宝物になるでしょう。

4D 超音波外来

4D エコー外来は当院にかかっていない妊婦さんでも気軽に受診していただけます。4D エコーの撮影時期は、妊娠 10 週くらいから娠末期まで可能です。赤ちゃんの全身の動きを見るには、妊娠 10 週から妊娠 24 週くらいまでが適しています。赤ちゃんの表情やしぐさを見るには、妊娠 25 週から 36 週くらいが適しています。妊娠末期でも赤ちゃんの位置がよければ、よい画像を得られることができます。

当院で準備させていただきました DVD に、赤ちゃんの表情、しぐさなどの動く画像を撮影し、お持ち帰りいただけます。DVD には音楽 (CD) を BGM として入れることも可能です。



当院で行っている胎児ドック

■ コンバインド検査 対象：妊娠 12～13 週

コンバインド検査とは、母体血清マーカー(採血)と超音波検査を組み合わせた検査で、胎児の染色体異常(ダウン症候群、18トリソミー、13トリソミー)の確率を計算します。当院では初期胎児スクリーニング(※詳細は下記参照)で超音波を使って詳しく観察することにより、胎児の大きな形態異常の発見も可能です。

■ 初期胎児スクリーニング検査：対象：12～14 週

妊娠初期の間に行う超音波検査で、主にダウン症候群などの染色体異常のリスクを推定することができます。胎児に染色胎異常がある場合、この時期に限定して一過性の首の後ろのむくみ(NT)が出現し、それが増加するほど染色体異常のリスクが高まるとされています。当院ではその NT の計測の他に、心拍数・鼻骨の観察・心臓内外の血流計測や染色体異常に関連する像、この時点でわかる胎児の構造異常の有無などについてあらゆる面から総合的に観察します。

※初期胎児スクリーニング検査はコンバインド検査で行う超音波検査と同じものになりますが、採血は行わないためコンバインド検査より対象期間が1週間延びます。

■ クアトロマーカー検査 対象：15～17 週

母体の血液を採取して行う検査で、ダウン症候群・18トリソミー・開放性神経管奇形の3種類に罹患している確率を算出することができます。結果が出るまでに10～14日程度要します。

■ 羊水検査 対象：妊娠 16～18 週

胎児に染色体異常があるかどうかを調べる検査で、その他の胎児ドックとは違い、羊水検査は確定診断になります。超音波で胎児の様子を確認しながら妊婦さんのお腹に針を刺し、羊水に漂っている胎児の細胞を採取します。合併症として、破水を引き起こすことで流産になることがあります。その確率は(1/300～1/500)とされています。

■ 中期胎児スクリーニング検査 対象：18～30 週

妊娠中期の間に行う超音波検査で、胎児の身体の変異や各臓器の構造的異常がないかを詳しく観察します。初期胎児スクリーニングでは観察することが出来なかった各臓器の細部を詳細に観察し、生まれてから精査加療等の必要がないかを検査します。

婦人科検診

月経困難症、月経不順、不妊相談、更年期障害、尿漏れ、頻尿など婦人科一般もお気軽にご相談ください。